

水辺の話題

ゲルハルト・ルーベ教授来日

～多自然型川づくりシンポジウム開催～

去る7月26日、8月2日、3日、当センター主催、建設省後援の『多自然型川づくりシンポジウム』をそれぞれ東京、名古屋、京都において開催いたしました。

このシンポジウムは、ドイツ・アーヘン工科大学のG・ルーベ教授の来日にあたり開催したもので、同氏

の長年にわたるドイツでの「多自然型河川工法」の貴重な研究・実践を学ぶとともに、日本への応用及び多自然型河川の生かし方について議論を行なうことにより、「多自然型川づくり」の普及と推進をめざしたものです。また、東京でのシンポジウムでは、ルーベ教授とともに名古屋大学教授高木不折氏、信州大学教授桜井善雄氏、山梨大学助教授北村眞一氏、建設省関東地方建設局河川部長松田芳夫氏をパネラーとした座談会を開き、『多自然型河川工法の実践に向けて』というテーマに対して各人の専門とする立場から貴重なご意見をいただきました。

ふるさとの川モデル事業指定・認定式 開催される

平成3年度の『ふるさとの川モデル事業の指定・認定式』が7月17日、建設省共用会議室において近藤建設省河川局長をはじめとする関係者多数の出席のもと行なわれました。

今年度は、長崎県の真崎川など18の河川が『ふるさとの川モデル河川』に指定され、又、静岡県馬込川など21の河川で『ふるさとの川整備計画』が認定されました。この結果、全部で指定河川は135河川、整備計画の認定は94河川となります。



〈出版物案内〉

“今、話題の水文化を語る文化誌”
月刊「FRONT」 1,600円(税、送料込み)

“美しいカラー写真295枚で紹介”
「世界のウォーターフロント PART I」 4,120円(税、送料込み)

“川と人とのふれあい367km”
「信濃川水紀行」 2,500円(税、送料込み)

上記3誌については財団法人リバーフロント整備センターに直接お問い合わせ下さい。

近日発売!

“全国で展開されている美しい水辺づくりの試み・第3弾”
「ふるさとの川をつくるⅢ」
——ふるさとの川モデル事業整備計画事例集Ⅲ——

“多自然型建設工法の理念と実際”
「まちと水辺に豊かな自然を」 定価1,800円(税込み)
編集 財団法人 リバーフロント整備センター
発行及び申込み先 株式会社 山海堂
TEL 03-816-1617・FAX 03-816-1619

“全国で展開されている美しい水辺づくりの試み・第2弾”
「ふるさとの川をつくるⅡ」
——ふるさとの川モデル事業整備計画事例集(Ⅱ)——
定価6,800円(本体価格6,602円)

監修 建設省河川局
編集 財団法人 リバーフロント整備センター
発行 (株)大成出版社

「川を楽しむ」
——水辺の魅力再発見—— 定価1,854円(税込み)
編集 財団法人リバーフロント整備センター
発行 技報堂出版(株) 3月発行



財団法人リバーフロント整備センター

〒102 東京都千代田区一番町6-4 一番町エイトワンビル6階

TEL.03-3265-7121 FAX.03-3265-7456